

文化人類学コース

蔵本 龍介

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・「ミャンマー」公益財団法人仏教伝道協会「世界の仏教を学ぶ」、仏教伝道協会、2021年9月16日
- ・「ミャンマー・出家者の世界」武蔵野大学仏教文化研究所「世界の国々と仏教」、武蔵野大学、2021年10月23日
- ・「土木」ODAの歴史と未来」研究会、オンライン、2022年1月29日

2. 教育実績

(2) 後期課程担当科目

文化人類学特殊講義(宗教と開発)、文化人類学特殊演習(宗教人類学の新潮流)

(3) 大学院担当科目

文化人類学演習Ⅱ、文化現象論

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

- ・文化人類学概説b、文化人類学原書購読b(千葉大学・文学部)
- ・文化人類学特殊演習Ⅰ、文化人類学特殊演習Ⅱ(慶應義塾大学大学院・社会学研究科)

3. 学内行政業務

大学院教育会議委員(総合文化)、グローバル地域研究機構運営委員会委員

関谷 雄一

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・‘5. Mobility as a culture in rural Africa’, in Sasaoka, Yuichi, Aimé Raoul Sumo Tayo, Sayoko Uesu eds. *Perspectives on the State Borders in Globalized Africa*, Routledge. (2022) pp.71-85.

2. 共著

(3) 学会、研究会発表

- ・「開発レジリエンスと新型コロナ時代のSDGs」国際開発学会2021年度春季大会ラウンドテーブル(2021年6月12日) 司会役
- ・「災害と向き合う協働研究」東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所主催 ハザード・シンポジウム「在来知を通じた東日本大震災からの復興」(2021年6月12日)
- ・「現代アフリカ農村のモビリティとSDGs」文化遺産国際協力コンソーシアム第16回アフリカ分科会(2021年7月19日)
- ・「公共人類学と協働の民族誌」オンライン研究集会「日本におけるパブリックヒューマニティーズ／公共人文学の現在地」(2021年11月12日)
- ・「開発レジリエンスとSDGsの今後—パンデミック以後の課題—」国際開発学会2021年度全国大会ラウンドテーブル(大会は2021年11月20&21日開催、RTは20日実施) 司会役

- ・「日本における災害弱者とSDGsについて」TOSHIBA国際交流財団後援 学術大会「ポスト時代の日本研究と日本社会(2020-2022)」ポスト災害-復興時代、東アジア災害人文学の可能性-災害が続く時代において、持続可能な生活世界をどのように模索するか。第2部 治癒、ポスト復興時代、気候変動、持続可能な開発 <セッション3> 災害と人間、日常の持続可能性(2022年3月18日)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「対ニジェール援助—ODAが築いた人財交流」阪本公美子他編『日本の国際協力 中東・アフリカ編—貧困とどう向き合うか』ミネルヴァ書房(2021)pp.156-158.

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「文化人類学Ⅱ」

(2) 後期課程担当科目

「応用人類学Ⅰ」「東西文明学Ⅲ(思想と批評Ⅰ)」「東西文明学Ⅲ(言語と歴史Ⅰ)」「東西文明学Ⅲ(国際社会科学Ⅰ)」「東西文明学Ⅲ(環境と身体Ⅰ)」「文化人類学基礎論」

(3) 大学院担当科目

「開発と文化Ⅱ & 生存とライフスキルⅠ & 多文化共生・統合人間学演習Ⅰ 合併」「人間の安全保障実験実習Ⅱ」「Supervised ReadingsⅡ」「文化人類学演習Ⅱ & 国際協力論演習Ⅱ 合併」「人間の安全保障演習Ⅳ & 多文化共生・統合人間学演習Ⅱ 合併」「人間の安全保障実験実習Ⅰ」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科国際関係専攻 4年次演習(国際関係)Ⅰ(前期) & Ⅱ(後期)

3. 学内行政業務

「人間の安全保障」プログラム運営委員、「人間の安全保障」プログラム教務担当、「人間の安全保障」プログラム評価委員、「多文化共生・統合人間学」プログラム運営委員・事務局長、国際日本研究コース主任(Sセメスター)、国際日本研究コース総務主任(Aセメスター)、国際日本研究教育機構長、グローバル地域研究機構持続的開発研究センター長

塚原 伸治

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

- ・福田亜細男・菅丰・塚原伸治(陈志勤・赵彦民・彭伟文訳)『超越20世紀民俗学：对话福田亜細男』、山东画报出版社、2021年6月

(3) 学会、研究会発表

- ・現代民俗学会第58回研究会「〈フェスティバル〉から〈ヴァナキュラー〉な〈アート〉を考える」招待コメンテーター、現代民俗学会、2021年12月11日
- ・第3回EAA「民俗学×哲学」研究会「郷土の研究者はいつまで同郷人であることができるか—アカデミック民俗学者にとっての地元について—」(招待講演)、2022年1月14日

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

民族文化論

(2) 後期課程担当科目

日本文化研究Ⅱ

(3) 大学院担当科目

民族社会論Ⅰ

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

茨城大学人文社会科学部「民俗学」「比較文化論演習Ⅰ」「メジャー専門ゼミナールⅠ・Ⅲ・Ⅳ」、茨城大学人文社会科学研究科「比較文化論研究Ⅰ」「比較文化論演習Ⅰ」

3. 学内行政業務

前任校で学内行政業務に従事

津田 浩司

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・「インドネシア華人をめぐる私の研究歴」、教員連続セミナー（第3回）、東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻文化人類学コース、オンライン発表-Zoom、2021年10月25日.
- ・「日本軍政期ジャワの華僑住民に対する統制と動員—ジャカルタ特別市華僑総会を事例に」、日本華僑華人学会2021年度研究大会、大阪大学箕面キャンパス（オンライン発表-Google Meet）、2021年10月31日.

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

現代文化人類学、初年次ゼミナール文科

(2) 後期課程担当科目

歴史と文化Ⅰ、アジアの民族

(3) 大学院担当科目

民族社会論Ⅰ、文化人類学特殊講義（フィールドワーク論）

3. 学内行政業務

学生相談所運営委員・学生相談所協力教員、『超域文化科学紀要』委員、文化人類学部会主任

中村 沙絵

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「道徳哲学と民族誌の「もう1つ」の交わり方:きれいな分析を拒む現実に留まること／逸れること」『文化人類学』86巻2号、250－268頁、2021年

(3) 学会、研究会発表

- ・「^{つくろ}繕いのケア スリランカ都市部の終末期介護を事例に」日本文化人類学会第55回研究大会（2021年5月29日）
- ・「社会福祉における「コミュニティ」概念の検討:スリランカにおける高齢者の扶養とケアをめぐる取り組みに注目して」第34回日本南アジア学会全国大会（共通論題パネル）（2021

年10月9日)

- ・「スリランカにて一ある死と看取りについての省察」龍谷大学世界仏教文化研究センター「近現代アジアにおける仏教の所在と社会的役割」研究セミナー(2022年2月23日)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・エッセー「ゴキブリの足音を聴いた朝」『汚穢の倫理』研究会HP「汚穢をめぐる素描文章集」
<https://www.dirtiness-and-disorder-studies.com/%E6%B1%9A%E7%A9%A2%E3%82%92%E3%82%81%E3%81%90%E3%82%8B%E7%B4%A0%E6%8F%8F%E6%96%87%E7%AB%A0%E9%9B%86>(2021年11月掲載)

(5) その他

- ・セミナー講義「スリランカにおけるイスラームの概況」笹川平和財団・第8回 アジアに生きるイスラーム勉強会(2021年11月9日)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

人文科学ゼミナール(文化人類学)

(2) 後期課程担当科目

文化人類学理論III

(3) 大学院担当科目

開発と文化I

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

南アジア地域論I、南アジア地域論II、グローバル地域研究演習(京都大学 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科※前任校、～2021年9月末)

3. 学内行政業務

前任校で学内行政業務に従事(～2021年9月末)、アドバンスト文科運営委員

名和 克郎

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・「『アリバイ工作社会：「ブルシット・ジョブ」論の再検討』(2021年)をめぐって」第88回多言語社会研究会例会(Zoom)、2022年1月29日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「近刊短評：Ruth Benedict Book Series(タルル・アサド『リベラル国家と宗教—世俗主義と翻訳について』、Partha Chatterjee, I am the People: Reflections on Popular Sovereignty Today, Joan Wallach Scott, On the Judgment of History)、『ことばと社会—多言語社会研究』(22)、2021年、295頁

2. 教育実績

(2) 後期課程担当科目

地域民族誌I、地域民族誌II

(3) 大学院担当科目

比較民族誌演習II、文化人類学演習I、研究技法トレーニングI

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

Information, Technology, and Society in Asia 323(大学院学際情報学府)

3. 学内行政業務

主に情報学環・学際情報学府において各種学内行政業務に従事

||| 浜田 明範

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

・「ウィズコロナの始まりと終わりのパンデミックにおける身体、統治、速度」『文化人類学』86(3): 457-76, 2021.

2. 共著

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

マイケル・タウシグ著『美女と野獣』上村淳志・田口陽子・浜田明範訳、水声社、2021年。

2. 教育実績

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

グローバル化のなかの文化と社会、国際社会とシステムデザイン、基礎演習、社会システムデザイン実習1・2、専門演習1・2、卒業研究1・2(関西大学)

3. 学内行政業務

前任校で学内行政業務に従事

||| 宮地 隆廣

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

・「序章 二世紀ラテンアメリカの政治研究 民主主義と内政・国際関係」『国際政治』207、1-16頁、2022年3月。

(3) 学会、研究会発表

・「エクアドル 2021年の政権交代が意味するもの」ラテン・アメリカ政経学会第58回全国大会、2021年11月14日。

(4) 書評、記事、エッセー、その他

・「対ボリビア援助 六〇年の歴史に見る連続性と変化」松下冽他編『日本の国際協力 中南米編』ミネルヴァ書房、2021年、180-186頁。

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

スペイン語一列①、スペイン語中級(インテンシヴ)、スペイン語初級(会話)

(2) 後期課程担当科目

文明と社会I、文化人類学特殊講義(国家形成論の諸相)、卒業論文演習[文化人類学コース]、文化人類学特殊演習(卒論演習)、ラテンアメリカ社会論演習I、ラテンアメリカ社会論演習II、専門英語(1)

(3) 大学院担当科目

文明と地域社会I、文明と地域社会II、北米・中南米地域文化演習III、研究技法トレーニングII

- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

拓殖大学政経学部「ラテン・アメリカ政治論A」「ラテン・アメリカ政治論B」

電気通信大学大学院「国際社会の政治・経済」

3. 学内行政業務

前期スペイン語部会主任、後期文化人類学コース主任、総合研究棟管理委員、国際交流センター運営委員、FLY Program運営委員

||| 箭内 匡

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文

1. 単著

- ・「『植物人類学』序説—植物と再び出会うための系譜学的考察」、『たぐい』vol.4、2021年9月、6-19頁
- ・「アフェクトゥスの問題圏」、森岡正芳編『治療文化の考古学』（臨床心理学増刊13号）、2021年8月、54-59頁

- (4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「濃厚なアマゾンの森のジュースを飲む」、『カナルタ 螺旋状の夢』（映画公式パンフレット）、トクスタジオ、2021年10月、48-49頁。

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール文科、文化人類学II

- (2) 後期課程担当科目

文化人類学基礎演習、文化人類学理論II

- (3) 大学院担当科目

文化構造論II

3. 学内行政業務

文化人類学コース主任

||| 渡邊 日日

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書

3. 共著

- ・2021「シベリア—内なる他者の住む場所」、沼野充義ほか（編）『ロシア文化55のキーワード』、京都：ミネルヴァ書房、24～27頁。

- (3) 学会、研究会発表

- ・2022「社会の批判と言語の批判—まじこひでのり『社会学のまなざし』をまなざす」、多言語社会研究会例会、1月29日、ZOOM開催。

- (4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・2021「迷宮としての超域文化科学分科—改革2016を中心に」、駒場70年史編集委員会（編）『駒場の70年 1949～2020—法人化以降の大学像を求めて』、東京大学出版会、205～213頁。

- ・2021「ブリーチャーに関する最近の英文民族誌について」,『ことばと社会』, 23号, 289頁。

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

ロシア語関連科目

(2) 後期課程担当科目

文化人類学特殊演習a(シベリア民族学の諸問題)／ロシア東欧政治社会特殊演習a

(3) 大学院担当科目

文化人類学演習I／研究技法トレーニング I／文化人類学演習II

3. 学内行政業務

ロシア語部会主任, TLPロシア語運営委員, 高度化機構アクティブラーニング部門委員, フィールドワーク災害対策検討WG委員。